報道関係者各位

2014 年 2 月 18 日

エフセキュア調査:
デジタル･コンテンツの保管、シェア、アクセスの実態

私たちは写真、動画、文書、メールなどの形式で膨大な量のデジタル・コンテンツを生成しています。ではどのように保管、シェアし、また将来どのようにアクセスしたいと考えているのでしょうか? ※

デバイス上のコンテンツの量

自身のデバイス上にどれくらいの量のデジタル･コンテンツがあるかという質問に対し、23%の男性が「知らない」と答えており、さらに女性は 46%もの人が知らずにいます。また 23%の男性、および 12%の女性が 100GB 以上のコンテンツを所持していると答えています。

PC とスマホを同時に使うようなマルチ・スクリーン・ユーザのうち、自身のコンテンツの量を知らない人は 22%でしたが、シングル・スクリーン・ユーザは 44%もの人が知りませんでした。さらにマルチ・スクリーン・ユーザの 22%が 100GB 以上のコンテンツを所持しているのに比べ、シングル・スクリーン・ユーザは 14%だけでした。

バックアップの方法

男性の 77%、女性の 75%がコンテンツのバックアップを取っていると答えています。オンライン・クラウド･サービスへのバックアップは、男性が 25%で、女性の 21%を僅かながら上回っています。他の方々は USB デバイスや CD などのハードウェアを利用しています。少なくとも週一回はバックアップを取っているのは、男性が 33%で、25%である女性よりも頻繁である傾向が見られます。

国別では、マレーシアが最も高い率で定期的にバックアップを取っており、88%に上ります。次がドイツの 82%、コロンビアの 81%と続きます。コンテンツのバックアップを取っている人が少ない国々は英国、スウェーデン、フィンランドで、いずれも 69%でした。

コンテンツの保管・シェアの方法と場所

コンテンツをどこへアップロードするかに関して、単に保管しておくためであれ、友人とシェアするためであれ、Facebook がトップに挙がっています。週に少なくとも一回はコンテンツを SNS へアップロードしている人は女性の 39%を占め、男性の 34%を上回っています。次に続くのが YouTube で、男性の 21%、女性の 19%が週に一回以上、コンテンツをアップロードしています。マルチ・スクリーン・ユーザの 47%が週に一回以上 Facebook へコンテンツをアップロードしており、シングル・スクリーン・ユーザが 29%であることを大きく上回っています。

セキュリティに関する意識

クラウド上のストレージやバックアップ・サービス、あるいは SNS での自分のコンテンツに対する不正アクセスについて、女性(61%)のほうが男性(57%)よりも若干高い懸念を示してします。ヨーロッパでは概して低く、51%の人が懸念を示していますが、ヨーロッパ以外では 71%に達してします。

コンテンツやサービスへのマルチ・デバイス・アクセス

いまや世界はマルチ・デバイスの時代です。男性、女性ともに、あらゆるデバイスから自分のコンテンツへアクセスできることが有効であると考えています。女性の 64%と男性の 63%が、どこにいようと全ての自身のデバイスから全ての自身のコンテンツへアクセス可能にすることが役に立つと回答しています。そして男性の 60%と女性の 59%が、さまざまなオンライン・サービス上の全てのコンテンツを、ひとつの場所から管理できることが望ましいと答えています。

以上の調査に関します図表やグラフは弊社「エフセキュアブログ」をご参照ください。

デバイスの上のコンテンツの量　http://blog.f-secure.jp/archives/50717419.html

バックアップの方法　http://blog.f-secure.jp/archives/50717691.html

コンテンツの保管・シェア　http://blog.f-secure.jp/archives/50717748.html

セキュリティに関する意識　http://blog.f-secure.jp/archives/50719068.html

マルチ・デバイス・アクセス　http://blog.f-secure.jp/archives/50719071.html

※エフセキュアの 2013 年デジタルライフスタイル調査は、15 カ国（ドイツ、イタリア、フランス、英国、オランダ、ベルギー、スウェーデン、フィンランド、ポーランド、アメリカ合衆国、ブラジル、チリ、コロンビア、オーストラリアおよびマレーシア）で 20～60 歳のブロードバンド加入者 6,000 人を対象に Web インタビューを実施しました。同調査は GfK によって、2013 年 4 月に実施されました。

*エフセキュアの社名、ロゴ、製品名は F-Secure Corporation の登録商標です。
*本文中に記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

エフセキュア株式会社 会社概要

http://www.f-secure.co.jp/

エフセキュア ー かけがえのないものを守る

エフセキュアは、お客様が重要なアクティビティに専念できるよう、コンピュータでもスマートフォンでも、オンラインでの保護と安全をお約束します。また、バックアップを提供するとともに、重要なファイルの共有も可能にします。エフセキュアのサービスは、200 以上の通信事業者を通じて世界で提供されており、数百万のホームユーザ、ビジネスユーザから信頼を受けています。1988 年創業のエフセキュアは、NASDAQ OMX Helsinki Ltd に上場しています。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社 100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2009 年 5 月に日本法人設立満 10 周年を迎えました。

会 社 名:	エフセキュア株式会社
カントリーマネージャ:	アリエン・ヴァン・ブロックランド
所 在 地:	〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F
設 立:	1999 年 5 月
事業内容:	セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

本件に関するお問合せ先
エフセキュア株式会社
マーケティング部
Tel: 03-5545-8942 Fax: 03-5545-8945
Email: japan@f-secure.co.jp
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F
URL: http://www.f-secure.co.jp/
Blog: http://blog.f-secure.jp/